

# AC・Netニュース

No. 185  
平成 27 年 11 月

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

晩秋の候、AC・Net会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

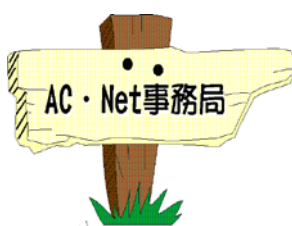
第 210 回例会では多数のご参加をいただきありがとうございました。10 月 27 日には見学会も開催いたしました。開催の決定が直近だった為、都合によりご参加いただけなかった方も多かった様子でした。3-4 頁に見学会の様子を掲載いたしましたので、閲読いただければ幸いです。

次回の第 211 回例会の日程と会場が決定いたしましたので、ご案内いたします。少し先の日程になりますので、ご予約を確保いただけますと幸いです。今後とも何卒よろしく願いいたします。

## ▶ 第 211 回例会(講演会)

- 日 時 : 平成 28 年 3 月 9 日 (水) 午後
- 会 場 : キャンパスプラザ京都 第 4 講義室  
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939
- アクセス : 京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR 各線「京都駅」下車。徒歩 5 分。
- 講演者 : 菅沼 直樹 氏 金沢大学 准教授  
「自律型自動運転自動車の開発～石川県金沢市における公道走行実験～」(仮)
- 講演者 : 岡田 美智男 氏 豊橋技術科学大学 教授  
「ヒューマンインタラクション」(仮)

交流会、参加申し込み、スケジュール等に関しましては、  
メール・ホームページにて随時ご案内いたします。



### 【事務局より】

講演会のご案内は、メール配信及びホームページ  
([http://www2.nict.go.jp/advanced\\_ict/ACnet/](http://www2.nict.go.jp/advanced_ict/ACnet/))で行っております。

〒 651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2  
国立研究開発法人情報通信研究機構 未来 ICT 研究所内  
TEL:078-969-2121 FAX:078-969-2119  
E-mail:acnet@ml.nict.go.jp

## ▶ 第 210 回例会開催報告

- 平成 27 年 10 月 9 日（金） 14:00～16:30
  - 会場：大阪大学中之島センター 3F 講義室 301
  - プログラム
  - ◎ 14:00～15:10 「産総研人工知能研究センターのめざすところ」  
辻井 潤一 氏  
国立研究開発法人産業総合研究所 人工知能研究センター センター長
  - ◎ 15:20～16:30 「IoT/M2M の可能性と現状の限界」  
猿渡 俊介 氏  
静岡大学 大学院情報学研究科 講師  
国立研究開発法人産業総合技術研究所 計測標準研究部門 客員研究員
- [参加者 54 名]

### 参加者からの声（当日のアンケートより抜粋）



辻井潤一氏ご講演の様子

#### ◆講演のご感想◆

- ◎辻井先生が AIRC で目指していることがよく理解できました。AI 研究の新たなグランドデザインを感じることができました。
- ◎非常に興味深く、考え方が為になるものだった。時間に対して、講演の密度が濃かった為、理解が十分に追いつけない場面があったことが残念だった。
- ◎日米の人工知能の取り組みが概観できて良かったです。



猿渡俊介氏ご講演の様子

#### ◆講演のご感想◆

- ◎IoT/M2M で色々と思っていたことがクリアになりました。又、後半の今後の展開ポイントは IoT/M2M の視点から説明頂き、面白い視点だと思った。
- ◎IoT に関連するデバイス開発をやっておりますが、今後どのような方向へ進んでいくのか興味をもって拝聴致しました。
- ◎幅広い話題を整理してもらえて良かった。

#### ◆そのほかのご意見◆

- ◎今回のテーマはとても良かったです。これから関西の企業をどう元気にしていくかメンバーも考えていきたいと思えます。
- ◎初めて参加させて頂きました。又、機会があれば参加したいと思えます。ありがとうございました。
- ◎各企業・組織での課題解決策を、専門家の方達と一緒に考えて頂くような体験型の企画があると面白いと思えました。

ご講演いただきました辻井先生、猿渡先生並びにご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

▶ 平成 27 年度見学会開催報告

- 平成 27 年 10 月 27 日 (火) 13:30~17:15 ※延長しました
- 会場：株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) ・石黒浩特別研究所  
NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所
- プログラム
- ◎ 13:30~14:00 ATR 概要説明
- ◎ 14:00~15:30 ATR 石黒浩特別研究所 見学  
ERICA、Geminoid・Hugvie、Telenoid (各 30 分)
- ◎ 15:45~17:15 NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所 見学

[参加者 22 名]

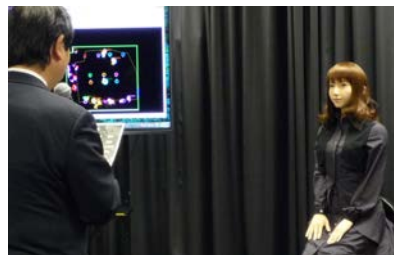
当日の様子



**ATR 概要説明**

今回のメイン見学先である石黒浩特別研究所の研究内容に合わせて、ATR でのロボットの研究を中心に、研究開発の経歴や開発された様々なロボットについてご紹介していただきました。  
(説明者：ATR 経営統括部担当部長 阪田正和氏)

石黒浩特別研究所 3 か所を少数グループで周り、それぞれ丁寧にご説明いただきました



**ERICA (エリカ)**

ERICA は、ERATO 石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクトにより開発されたものです。

自律対話型アンドロイドの実現に向けた総合的な技術開発の研究プラットフォームとして開発されたアンドロイドです。研究開発の目的や今後の展開等を伺い、参加者も ERICA との会話を体験しました。



**Telenoid (テレノイド)**

テレノイド<sup>TM</sup>は、大阪大学と国際電気通信基礎技術研究所(ATR)石黒浩特別研究所により共同開発されたものです。

人間として必要最低限の見かけと動きの要素だけを持つ遠隔操作型アンドロイドです。機能や実証実験の様子を伺い、実際にテレノイドを通して、操作室にいる人との会話を体験しました。操作室側ではテレノイドの操作も体験しました。



### Geminoid (ジェミノイド)・Hugvie (ハグビー)

ジェミノイド™HI-2は、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)石黒浩特別研究所により開発されたものです。

ハグビー™は、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)石黒浩特別研究所により開発されたものです。

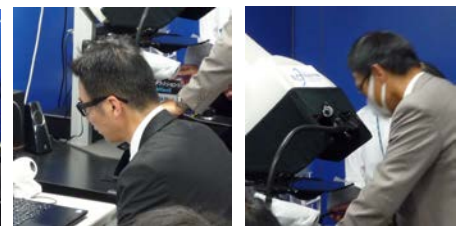
ジェミノイドは石黒浩 ATR フェロー/大阪大学教授に酷似した見かけをもった遠隔操作型アンドロイドです。研究開発の目的や今後の展開等を伺い、参加者もジェミノイドの操作を体験しました。

ハグビーは遠隔地にいる相手の存在を強く感じながら対話することができる存在感伝達メディアです。実証実験の様子をご紹介いただき、参加者も一体ずつハグし、ハグビーから聞こえる音声に耳を傾けました。

### NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所



会場の様子



嗅覚と触覚の体験の様子

NICT ユニバーサルコミュニケーション研究所では、同研究所が開発し、現在公開中の音声翻訳アプリ「VoiceTra」と大規模 Web 情報分析システム「WISDOM X」について、その研究内容と利用の方法、今後の展開についてご紹介いただきました。また人の触覚認知と感触を研究し開発された「多感覚インタラクションシステム」で古代の銅鏡に触れる触感を体験し、人の臭覚認知と香りの技術を研究し開発された、「マイクロ・アロマ・シューター」によって動画を視聴しながら動画と同じ香りが感じられるという体験をしました。

見学会当日は晴天に恵まれ、早めの紅葉も見られました。参加者の皆様には、時間が延長したこともあり、お疲れも見られましたが、内容の濃い見学会となり、大変ご満足いただけた様子でした。

本見学会開催にあたり、ご協力いただきました皆様並びにご参加いただきました皆様方に深く感謝申し上げます。